

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	博物館設置推進事業	所管	教育委員会教育総務部 社会教育課
			TEL 2998-9242

事業の目的 (何の為に 行うか)	多くの市民が本市の構想する博物館に関心を持ち、また理解を深め、その活動に参加・協力してもらうため。
------------------------	---

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	全市民	対象とした数	339,058	人
		実際に 利用した数	222	人

活動の内容	(何を したか)	1 博物館設置の諸課題についての調査・検討を進める 2 博物館活動ワークショップ(体験学習会)等の開催 3 市民との協働による推進 4 市民の学習団体・地元企業等との連携 5 行政の各部局や学校教育等との連携							
	活動実績	項目名	体験学習会等の参加者数	222 ----- 単位 人	項目名	講座の開催	11 ----- 単位 回	項目名	----- 単位

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	1,514	436	10,112	29.8

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	博物館に関心を持つ市民	博物館ワークショップ・市民フォーラム参加者等の総数	340 ----- 単位 人	222 ----- 単位 人	65.3 ----- 単位 %

今後の方向性 (所管の意見)	総合評価	* 事業の継続 ⇒ * 拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕			
		終了	⇒ 事業完了	終了	休止
	予算	* 現状どおり 増額		減額	終了

今後の方向性 (二次評価の意見)	二次評価実施の有無 * 有り⇒下記評価へ 無し⇒終了				
	総合評価	* 拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕 終了			
	予算	* 現状どおり 増額		減額	終了

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担	部課コード	120300	画	2998-9242
事業コード	博物館設置推進事業	当	教育委員会教育総務部 社会教育課			
120315		部	グループ 博物館設置推進担当			
開始年度		平成	7	年度	→	終了年度
		平成		年度		

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令				
	分野別計画・指針	生涯学習推進計画・次世代育成支援行動計画・所沢市環境基本計画・所沢市文化振興指針			社会教育法 博物館法 文化財保護法 文化芸術振興基本法				
	関連・類似事業								
	総合計画の体系	政策	第4章 いきいきと学び文化をはぐくむまち	人・施策	4節 社会教育	中柱	2 社会教育機関の充実	小柱	(2) 博物館の設置推進
	H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 29 位		実施計画における位置づけ… H19 A H20 O						
行政改革大綱における行動計画への位置づけ									
コード		1111	市民の知りたい情報の提供	コード	1131	計画段階からの市民参加の充実			
事業開始の背景									
平成7年2月、市長の施政方針で博物館建設について専門委員会を検討を進めるとの方針が示される。同年、博物館建設のための市民懇話会を設置。平成10年度、博物館基本構想策定事業として博物館基本構想策定委員会を設置。平成14年5月、同委員会が報告書を提出。この報告書を受けて博物館の設置を推進するために本事業を開始。									

③事業の内容	目的(何のために、具体的に)								
	多くの市民が本市の構想する博物館に関心を持ち、また理解を深め、その活動に参加・協力してもらうため。								
	対象(誰を、何を対象としているのか)			利用数の考え方					
	全市民			博物館活動ワークショップ等の参加者総数					
	対象数	単位	平成 18 年度	337,883	人	利用数	単位	平成 18 年度	239
		平成 19 年度	339,058	人			平成 19 年度	222	人
事業の具体的な内容及び実施方法									
1 博物館設置の諸課題についての調査・検討を進める 2 博物館活動ワークショップ(体験学習会)等の開催 3 市民との協働による推進 4 市民の学習団体・地元企業等との連携 5 行政の各部署や学校教育等との連携									

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input checked="" type="checkbox"/> 二次評価 >>					
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])				
		<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)				
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input checked="" type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
平成19年度中に改善した点						

⑤経費	《会計種別》		一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算			1,399	1,514	2,055
	決 算 (見込み含む)			669	436	
	(嘱託職員) (臨時職員)		(人) (人) (人) (人)			
	正規職員人件費		1.18 人	10,856	1.03 人	9,676
	公債費					
	事業費合計			11,525	10,112	
	財源内訳		一般財源	11,525	10,112	2,055
			国・県支出金			
			受益者負担金			
		市債				
		その他				
市民一人当たり(単位:円)			34.1	29.8		
利用数一単位あたり(単位:円)			48,221.8	45,548.7		

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	体験学習会等の参加者数	博物館活動ワークショップ等の参加者延べ人数	人	239	222		360
		講座の開催	博物館活動ワークショップの講座数	回	5	11		12
	成果分析	博物館に関心を持つ市民	博物館ワークショップ・市民フォーラム参加者等の総数	人	目標値	337	340	350
					実績	239	222	実績値の拡大を図る2
%				達成率	70.9	65.3	実績値の縮小を図る2	

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価	
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	市	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	受益者負担の有無	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input checked="" type="checkbox"/> 統合等必要なし	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
	明らかとなった課題	平成17年度から開催している博物館活動ワークショップも3年を経過し、これまでの「ふるさと所沢」に興味・関心を抱きかけづくりや博物館活動の楽しさを知るといった視点から、主体的な学習活動へ結びつくような講座開催へ移行の時期である。			
	評価	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)	
		ワークショップの充実	市民の学習内容を博物館活動へ活かす取り組みを進める。	平成22年3月	
		拠点施設の整備推進	旧並木東小学校を博物館活動の拠点施設として活用するため、ハード・ソフト両面からの整備を進める。	平成21年6月	
	平成21年度における事業の方向性				
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])				
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
評価理由					
本市では、子どもから大人まで幅広い世代の市民参加により、「ふるさと所沢」の自然・歴史・芸術・文化・産業など様々な分野での研究活動や資料を蓄積し、生涯学習とまちづくりに寄与する博物館の設置を計画している。今後は、その活動拠点となる旧並木東小学校の整備を進めながら、市民参加型の学習会やふるさと研究活動などソフト事業を充実するとともに、散逸の危険性がある資料を積極的に収集し後世に伝えるためにも、本事業のさらなる拡充が必要と考える。					
評価日	平成20年5月9日	記入者職氏名	社会教育課長 則武辰夫		

⑧二次評価	平成21年度における事業の方向性					
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了				
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
	事前評価	部内優先順位… 3 位	非常に高い	高い	やや低い	低い
	優先度評価	A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
評価理由	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	評価日	市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
		C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業				
博物館としてのスペースは旧並木東小学校跡地に確保されており、今後はそこでの活動について具体的な設計をすべく段階にある。運営に深く関わることについて市が期待している地域やNPOなどの人材と市との連携や役割分担のあり方について、「ふるさと研究」といった戦略的な方向性を明確にし、博物館の機能と成果という視点から内容を検討すべきと考える。こうした検討を進めるべきという点から、総合評価は「拡充」、予算については「現状どおり」と評価した。						

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画 本事業の左記計画における位置づけ… 有り 計画コード 261 412					
	施策の体系	2-6歴史・文化的環境の保全			2-6-1歴史・文化遺産の保存と活用	
		4-1環境教育・環境学習の推進			4-1-2学習の場や機会の提供	
		◎次世代育成支援行動計画 本事業の左記計画における位置づけ… 有り 計画コード 1252				
基本目標	1子どもたちがたくましく生きていくための力を伸ばします					
主要課題	2ホームタウンとしての家庭・地域づくり					
施策の方向	5地域の歴史・文化・自然とふれあう機会の充実					